

2021年度 自治体学会事業計画（案）

I 自治体学会川崎大会の開催

第35回大会を神奈川県川崎市で開催する。企画実施は、企画部会が行う。

期 日：8月20日（金）、21日（土）

会 場：カルッツかわさき（川崎市川崎区富士見1-1-4）

川崎市教育文化会館（川崎市川崎区富士見2-1-3）

テーマ：「神奈川・川崎から問う自治の未来」

内 容：分科会 研究発表セッション ポスターセッション

学会賞表彰式 エクスカーション

特記事項

- ・20日に第36回全国自治体政策研究交流会議が川崎市主催で開催される。
- ・20日に自治体学会の研究発表セッションを開催する。
- ・20日開催の情報交換会は、川崎市の協力のもと、自治体学会主催で実施し、情報交換会の場で、学会賞表彰式を行う。

※不測の事態に備え、事前にオンライン活用等の方策を検討する。

II 総会・評議員会・理事会・各部会等の開催

1 総会の開催

大会にあわせて、総会を開催する。

2 評議員会・理事会等の開催

理事会及び評議員会を適宜開催する。

学会事業実施のため、企画部会、編集部会、地域支援部会、研究支援部会、総務部会、学会賞委員会、役員推薦委員会、学術問題検討委員会等を適宜開催する。

III 事業の実施

1 学会誌の発行

学会誌「自治体学」を年2回（35-1号、35-2号）発行し、会員全員に配付するとともに関係機関に配布する。

学会誌の編集は、編集部会が行う。

2 学会賞の授与

田村明まちづくり賞及び研究論文賞の募集を行い、優れた者を表彰する。あわせて、自治体学研究奨励賞も表彰する。選考は、学会賞委員会が行う。

3 研究活動への支援

会員から、研究論文及び研究ノートを募集し、投稿論文等について、査読員による査読結果をもとに、研究支援部会が、学会誌に掲載する研究論文、研究ノートを決定する。会員の研究成果を広く知ってもらうため、学会誌に掲載した研究論文・研究ノートを「J-STAGE」に掲載することを進める。

4 学会の活性化を目指した事業の実施

自治体学会講演会等を地域支援部会が中心となって実施する。

学会賞を受賞した“まちづくり活動”について、そのまちづくりを担う市民と連携し、現地を訪問し“まちづくり活動”を学ぶ事業を実施する。

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した活動を検討する。

5 情報の提供、会員の交流促進

ホームページによる情報提供、メーリングリスト、会員名簿等を活用し、会員相互の交流に努める。メーリングリストのサービス提供会社との契約が期限となることから、新たな会社と契約し、メーリングリストを更新する。

6 まちづくり活動への支援

(1) 地域活動の支援

会員が主体となって実施する地域活動のうちフォーラム等の開催及びその報告書の作成を支援する。

(2) 自治体学会の設立趣旨に適合する事業の名義後援

7 コロナ禍後の学会活動の検討

コロナ禍後の社会における様々な変化を見据え、学会運営及び大会のあり方等を検討する。

IV 運営

1 学会ガバナンスの確立

機能的・合理的・行動的でコンパクトな学会運営を行う。

安定的な学会活動のために、学会運営課題への対応を図るとともに中期事業計画を策定する。また、各部会で事業の見直しを行う。2020年度決算をふまえ、コロナ禍後の活動を見据え、別勘定の基金積立を検討する。

2 事務局の運営

総務部会は、事務局を補助する。

3 オンラインの活用を図る

新型コロナウイルス感染症のことを踏まえ、オンラインを活用した会議等を進める。